

買い物上手になろう

- ◆商品についての情報を集めよう
(友達、雑誌、TV、インターネット、お店など)
- ◆どこのお店で買うのがいいか調べよう
(品ぞろえ、ねだん、お店の人の対応など)
- ◆いくつかの商品を比べよう
(使いやすさ、デザイン、サイズ、ねだんなど)
- ◆商品についているマークなども注意して見てみよう
(安全性のテストに合格しているマーク、食べ物の賞味期限・消費期限、リサイクルマークなど)
- ◆お店のよびこみや、せんでんの言葉につられないように気をつけよう
- ◆買う前に本当に必要なもの(今ないと困るもの)か考えよう
- ◆レシートをもらって、買った商品、ねだん、おつりなどを確認しよう
- ◆おこづかい帳をつけて、お金を計画的に使うくせをつけよう
- ◆買ったものは大切に使う

みんなもっている

コマーシャルで「新発売！」気になるなあ…

「今日だけおまけつき！」



ワンポイントアドバイス!

本当に正しい情報を集められたかな!?
調べた情報や買いたいと思った理由
などおうちの人と話し合ってみよう



「ほしいもの」と「必要なもの」とはちがうよ。むだづかいしないよう
買う前にもう一度よく考えて!

カードでも支払いができる!?

- プリペイドカード カードを買うときに先にお金を支払っていて、その金額分買い物できる。(図書カード・テレフォンカードなど)
- 電子マネー カードにお金をチャージ(前もってお金を入れておく)するとチャージした金額分の支払いができる。チャージすると何回もくりかえし使える。(Suica・PASMOなど) おさいふケータイもこのなかま。
- クレジットカード カードを見せてサインすれば、買い物ができ、後で銀行に預けているお金から支払われる。このカードはカード会社がしんさをして、きちんと支払える約束ができる人だけが持てる。
- キャッシュカード 銀行に預けているお金を機械で出したり、新たに預けたりするときに使う。

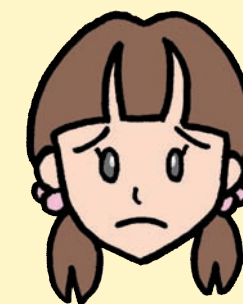


どれもお金と同じ価値があるので、落とさないように注意しようね。
とくにクレジットカードは、今お金がなくても買えて便利だけど使いすぎて後で
払えなくなることもあるんだ。大人になってカードを持つ時は、気をつけてね。

消費者として困ったときは

たとえば…

- ☐ 買ったばかりなのに壊れた
- ☐ お店の人の説明を信じて買ったが、実際に使ってみると説明と違っていた
- ☐ ケータイのゲームをして遊んでいたら、いきなり「1週間以内に5万円払うように」との画面がでた
- ☐ 無料の占いサイトに名前やメールアドレスなどを登録したら、変なメールがたくさん届くようになった



大人だけではなく、だれでも消費者としてこのような問題に出会う可能性があります。
契約は一方的にはやめられませんが、買った商品に問題がある場合や、お店の人からうその説明をされたり、おどされたりして契約したような場合は、やめることができます。また契約したつもりがないのに、代金を支払うように言われても、すぐに支払うのはやめましょう。
おかしいと思ったら、勇気を出してまわりの大人に相談しましょう。

困ったことにならないためには…

- ★必要がない場合はハッキリ断る
- ★知らない人の誘いにはのらない
- ★ケータイやゲームなどインターネット社会に危険があることを知っておこう
- ★名前や住所、メールアドレスなどの個人情報 は気軽に人に教えない

困ったことが起きたら…



ひとりでなやまないで、すぐにおうちの人や先生に相談しよう。
解決が難しいときは消費生活センターに相談してね。

